Ecology of Mankind (研究会・オ8回)

1959・6・23
1:30 ~ 5:00

出席者 ：IMANISI, UEYAMA, HUZIOKA, KAWAKITA, IWATA, UMESAO, TANI, SIMURA, IIZIMA, WAZAKI

きょうの内容 ： 口家の成立について実例をもう一度見る.
1. 西アフリカの口家 (IWATA)
2. 東南アジアの口家 (HUZIOKA)

次の予定 :—
オ一部のまとめ. 7月7日.

前回について

① Morgan説 (Primitive Society)
の否定
↓
Lowie — cultural relativism
↓
Steward — multilineal 説.

② 前回の分について
1. theocratic がまだよくつかめない
2. shaman は統一原理そのものではない.
3. 神様英雄説はダメ. 等

招 仔① 西アフリカの口家 ——(岩田)
Fage, J.D; An Introduction to the History of West Africa, 1955.
岩田：熱帯アフリカにおける交易形態, 19

① 西アフリカの口家をとりあげる.
(東・南アフリカにも口家はあった.)
サハラの南に接し, サバンナ・森林帯に口家が興亡した.



② 土着口家の三期
1. 西厂元前後 —— 北方 Arab 系と南部 Negro の間に Economical な関係があった.
北から 塩, 南から ドレイ・黄金.

2. ~13古紀 —— 北方人種が, サハラ南周辺部の都市をコンキョ地として黒人を支配し, Polytical な勢力をつくった.
その後混血により Negro 口家が成立したが南の熱帯林には及ばなかった.

3. 15古紀より —— スペイン・ポルトガルが西海岸貿易を行い黒人に武器を入れた結果, それを手に入れた部族がまわりの黒人をおさえた.

③ Negro の固有社会
1. Small descent group (父系) が社会単位.
年長の男子が Chief. (=priesthood)
分業・階級分化もあった.
(Mano 族 — Chief, Noble, Commoner, Slaves があった.)

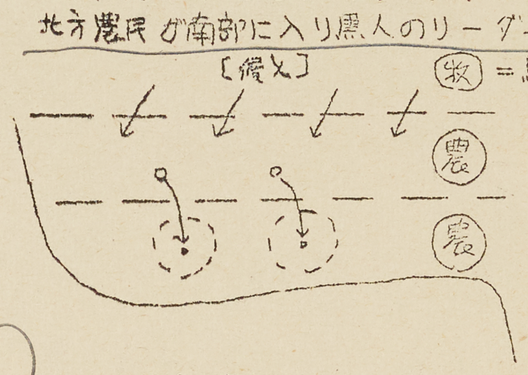
Ghana (北ネ)
Soninke (Negro)
Fulani
Soso 等.

Ashanti (南部)
Dahoney (〃)
Oyo (〃) 等

2. Negro の固有社会における交易網が発達していた.
分業も成立.
Clan — tribe のまとまりはあったがあくまで血縁が integrate の中心だった.

3. 小さな商業網の上に広める勢力となったものは北方からの遠距離貿易であった.
馬 — 騎兵及び回教の力によった.
あとで回教化した negro が征服した. (北部)

4 南方の農民は本来の negro
北方の農民は北方地中海人種の侵入をうけて social training をうけて tribal なまとまりはこわされたが, 個人の talent はできた.
北方農民が南部に入り黒人のリーダーとなった.



5. Negro 自身で高度口家はできなかった
Tinbuktu の形 = city-folk
Kutigi (Nupe 族) の形. = commercial な分業の発達.

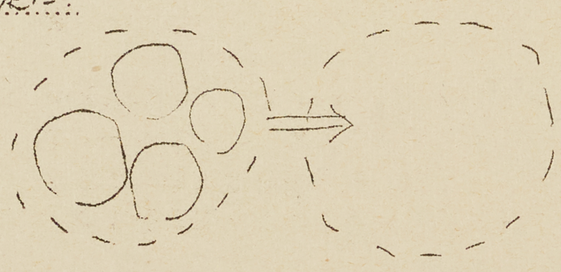
討議 ① (1m) 西アフリカの city は state と無縁で成立しているのか.

○やはり通商杆の保ご (杆力) が必要
○それならば 都市口家の起源とむすびつく.
Tinbuktu のように口家の統御力のない city がそのまま democratic に存在するのは考えられない.
○きっと有形無形の都市代表者 (=杆力) があったはずだ.
しかしそこまでいってなぜ state にならなかったか.
○つまり
血縁的基ベンに立つ tribe までは —— Engels で説明
北方人種の統合は ———— Lowie 〃 〃.
○Tribe と征服口家の間の中間段階.

② (1m) 都市があれば必ず超 tribe 的で, State への integrity は可能.

○ Community が重戸化するために, 通商圏の中心に都市ができる点を重視する. =西Africaの例はこれ.
(三主, 序列 と Class の区別を明らかに.
State は Class ができること =重戸共同体)
○ 同族が Classify して口家ができた例 (Lowie)

③ (1m) Community の重戸化には必ず地域のひろがりが前提だ.



Community の発展
↓
地域のひろがり
↓
他の Community とのふれあい
↓
上下関係の成立. (重戸化)

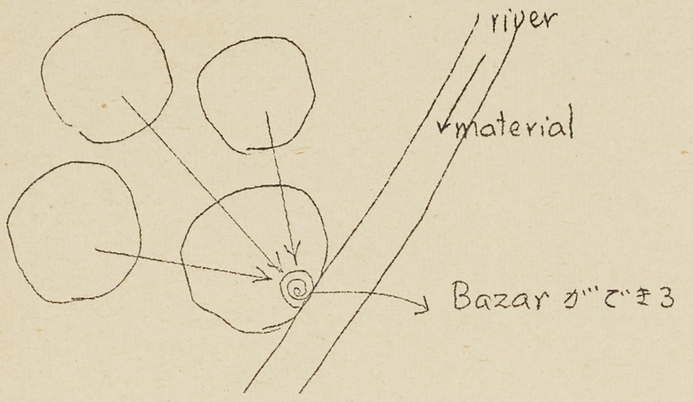
} 重戸化の形式.

Kyoto University

Ecolo. of Mank. No.8. 1959.6.23 (2)

④ 統合の原理.

1. どこかの community に交易の中心ができること.
2. 〃 〃 寺(信仰)の 〃 〃 〃 〃.
3. それが統合の役割をする.
   - ここをおさえるものが支配者となる.
   - 異民族がおさえると征服口家ができる.
   - そこえ King がでると Kingdom となる.



⑤ 血縁原理と非人.

血縁原理に入る入間には非人ができない.
従って血縁者の中から支配階級はできない.

→ 同族支配の実態をよくみること.

⑥ Talent と環境:

遊牧民が農耕民の上にのりかからねば State はできない
という点は, その Talent のちがいでなく, まさに環境
によるものだ.
(Masaii の例.)

拡行② 東南アジア —— (藤岡)

HARRISON, Brian ; South-east Asia. A Short History. 1957
REGINALD le MAY ; The Culture of South-East Asia. 1954

① 東南アジアの王国群 — あらまし.

1. 北からシナの南下 — BC. 221. シンの始皇帝 カントン / 漢の武帝 海南島
2. 西から Brahman が入ってくる. Prome.
3. 1世紀 Funan
   2 〃 Champa
   Chen-la
   Langkasuka Kedah
   Pán p'an 等.
   6 〃 日本に仏教伝わる.
   7 〃 タイ族の王口
   9 〃 (802AD) Anchor 帝口, 支那化した トンキン
   13 〃 フビライの南下
   Chenmai 王口(タイ族)
   14 〃 Aichaya 王口
   等.
4. Anchor 帝口で代表されるこれら諸口の性格は
   Brahmanism と大乗教との コミの文化形をもち
   口家のセイスイは武力によらず交易による.

討論

① 東南アジアの口 — 「王口」時代

○ 全 tribe 意識でまとまることはまれ.
人民の上にのった王のすきなことさした時代.
血縁の原理にもよらず, 現在の口家にもつながらないもの.
= 王口.

○ 人民の幸福をつかんでいるものは Brahmanism ではあっても、それはすべて Polytico-Relig. であった. (王家のハンエイの為).
○ Champa 王口の滅亡のふしぎ.
○ 12世紀まで宗教をともなった文化交流.
   Brahmanism → 支配階級のもの
   小乗仏教 → 人民にしみこむ.
○ 東南アジアの王口の特異性は インド文化とシナ文化にはさまれた後進性による.

② 王の成立條件.

○ Clan からこえるための価値感が必要.
○ 人民に対する王の神聖化(Brahmanism)による justification.
○ そうでない secular な帝口の例
   蒙古, ローマ, 漢.
○ 漢の完ぺキな Beaurocracy による支配.
   それでも「天の道」で justify した.

③ 交易による integrity と clan からの解放が
まだむすびつかない.

④ Polytico-Religeous について.

○ Policy と Religeon との分立には及ぶ.
現代の宗教は本質的でない.
○ むしろそれ以を現代に求めるとすれば コムニズムだ.
○ 一方 Tibet が原形の宗教をもっている.

以上.
(記録者 退席したので
以下の記録は不明)
WAZAKI.

天子
皇帝スーハイ
?

Kyoto University